

事業完了報告書（横浜市教育委員会）

調査研究期間等

調査研究期間	令和5年5月31日 ～ 令和6年3月15日
調査研究事項	<p>《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》</p> <p>I. 教育課程、教育環境整備に関すること</p> <p>③ 中学校教育を実施するために必要な日本語指導の在り方</p>
調査研究のねらい	<p>本市では、令和6年2月末時点で外国人人口が約11万7千人で、全国市区町村では大阪市に次いで2番目の規模である。令和2～4年にかけて新型コロナウイルス感染症対策の入国制限等により一時人口が減少していたが、それ以前は5年間で外国人人口が約3割増加している状況である。また、令和4年の入国制限等の緩和以降、過去最高の外国人人口を更新している。</p> <p>本市蒔田中学校夜間学級においても、日本語指導については、蒔田中学校の近くにある高校内に設置している日本語教室の利用のほか、課題別学習の時間を設け、個人の課題に応じた学習を行うことなどにより、日本語を含めた基礎学力の一層の充実に取り組んでいる。</p> <p>令和5年度入学予定者は、年齢層や国籍が異なりそのほとんどが日本語指導を必要としている。また、国語・数学・英語の習熟度や、音楽や体育などの科目における事前の知識等にも差異がある。これらの現状を記録としてまとめ、本市における夜間学級の中長期的なビジョンを策定し、日本語初期指導を始めとした、教科学習に必要な学習言語の指導や、日本で生活するうえで必要な情報提供等を行い、本市の生徒の現状に適した教育課程及び効果的な学習指導の実践に繋げる等、きめ細かな指導体制の構築及び教室等の教育環境整備など、更なる教育活動の充実を図ることをねらいとして本調査研究を実施する。</p>
調査研究の成果	<p>【横浜市・横浜市立蒔田中学校】</p> <p>生徒の現状に適した教育課程及び効果的な学習指導の実践に繋げ、更なる教育活動の充実を図るために、本市におけるこれまでの夜間学級の経緯を振り返り、次の内容について調査研究を行う。また、今後の夜間学級の更なる充実のためにも、本市における夜間学級の中長期的なビジョンを策定し、年度末に研究紀要を作成し、一年間の研究の成果をまとめ、次年度以降の実践に繋げてい</p>

く。

- 1 本市における夜間学級の取組（歴史含）
- 2 習熟度別少人数授業の在り方について
- 3 日本語補助教材の選定について
- 4 学習支援サポーター（通訳支援スタッフ）を活用した教育活動の在り方について
- 5 横浜市日本語教室（集中教室）や日本語拠点施設等（ひまわり）との連携による成果と課題について
- 6 これからの夜間学級に求められること（ハード面・ソフト面）
- 7 日本語能力試験（JLPT）取得を目指した指導の在り方について
- 8 効果的な漢字学習の在り方について
- 9 日本語習得を目指した読書活動の在り方について

【契約締結後、転入時】

○学級担任との教育相談（二者面談）

目的：一人ひとりの生徒の現状について把握し、自己実現に向けた手立てについて検討する。

内容：日本語と英語の理解度について、横浜市日本語教室（集中教室）への参加について

【成果】新入生を中心に、入級の目的やこれまでの経緯など、一人ひとりの状況を丁寧に聞き取りながら課題や目標を共有することができた。目的をもって安心して学校生活を送ることにつながるきっかけの場にすることができた。

○補助教材の選定

・生徒の学力、日本語の習熟度等に応じた補助教材を検討、決定

【成果】学力や日本語の習熟度についてアセスメントを行い、習熟度別少人数授業のクラス分けを行った。日本語指導には、（財）三重県国際交流財団発行の日本語指導のテキスト「みえこさんのにほんご」等を活用することとした。今年度は新たに発展的な教材として「中学生のにほんご 学校生活編」「中学生のにほんご 社会生活編」を併用して活用し、学校生活により直結した日本語学習を進めることができた。

【5～7月】

○夜間学級担当者会の実施 講師を招いた研修会の実施

内容：職員研修「横浜市の外国につながる児童生徒等の現状」

講師：横浜吉田中学校 日本語支援アドバイザー

白濱小恵子先生

目的：外国につながる生徒の増加に伴い、外国籍の生徒が日本語習得で困っていることを知り、日本語指導が必要な生徒にわかりやすい授業づくりの構築の機会とする。

【成果】

- ・日本語を学ぶ上での母語の重要性を確認できた。母語が受け入れられることで、外国籍の生徒が自信をもって学ぶことができることが共有された。
- ・文化間を移動する子どもたちが持つ「ダブルリミテッド」の課題が言語習得に影響を与えることがあるとわかった。
- ・生活言語の習得は早く、学習言語の習得には時間がかかること、日常会話の習得と教科学習の理解との間には隔たりがあることがわかった。
- ・短く、明確、的確な語彙の選択が必要であることが共有できた。

○夜間学級担当者会の実施

- ・習熟度別少人数授業の在り方について
- ・学習支援サポーターによる支援の方法について、効果的な支援方法の検討
- ・各教科担当における日本語指導方法の確認
- ・日本語能力試験（JLPT）取得を目指した指導の在り方
- ・効果的な漢字学習の在り方について
- ・日本語習得を目指した読書活動の在り方について

【成果】 学び直しの生徒が増え、対応が多様化しているという課題について丁寧に情報共有を行うことで、共通認識をもって生徒対応していくこと、また、各教科の指導上の工夫を学び合い、授業改善に生かしていくことを確認することができた。

○日本文化、日本における社会生活などの効果的な体験活動の実施

- ・遠足（鎌倉）、球技大会、芸術鑑賞（大相撲）の実施、防災

ワークショップ、生き方を考える授業

○横浜市立蒔田中学校夜間学級の統合10年を迎えて記念誌作成
(第1期 資料の収集)

- ・横浜市夜間中学作文集「いそしみ」
- ・横浜市立蒔田中学校「研究紀要」

【9～12月】

○夜間学級担当者会の実施 講師を招いた研修会の実施

内容：職員研修「外国籍の生徒の進路と在留資格について」

講師：神奈川県行政書士会 国際部 笠間由美子さん

目的：外国籍生徒の進路指導を行うために在留資格の基礎知識を理解する機会とする。

【成果】

- ・在留資格はかならず1つ必要であり、できること、できないことが決まっていること、在留には期限があることを確認できた。
- ・夜間学級卒業後の進路が将来に大きくかわるため在留資格に確認を含めた進路相談等を丁寧に行う必要があることが共有された。
- ・在学中に気を付けること（オーバーステイ）等を確認した。

○夜間学級担当者会の実施

- ・習熟度別少人数授業の在り方について
- ・学習支援サポーターによる支援の方法について、効果的な支援方法の検討
- ・各教科担当における日本語指導方法の確認
- ・日本語能力試験（JLPT）取得を目指した指導の在り方
- ・効果的な漢字学習の在り方について
- ・日本語習得を目指した読書活動の在り方について

【成果】学び直しの生徒が増え、対応が多様化しているという課題について丁寧に情報共有を行い、共通認識をもって生徒対応していく。また、各教科の指導上の工夫を学び合い、授業改善に生かしていくことを確認した。

○学級担任との教育相談（2者面談）

・学習について、長期休業後の日本語習熟度の確認

【成果】長期休業中の生活の変化や学習について確認し、今後の目標や課題について共有することができた。

○日本文化、日本における社会生活などの効果的な体験活動の実施

・体育祭、文化祭、芸術鑑賞（和太鼓）の実施

○3年進路面談実施（3者面談）

【成果】卒業とその後の進路についての準備と意識づけの場とすることができた。

○横浜市立蒔田中学校夜間学級の統合10年を迎えての記念誌作成（第2期 資料の収集、データ化）

・横浜市夜間中学作文集「いそしみ」

・横浜市立蒔田中学校「研究紀要」

・夜間中学経験者や関係者からの聞き取り調査

・記念誌の章立て等

【1～3月】

○夜間学級担当者会の実施、職員研修の実施

内容：職員研修「先生方の困り感を共に考えていく会」

講師：スクールカウンセラー 杉沢 実佳先生

目的：日常の学校生活の中での先生たちの様々な困り感を心理的側面や学習的側面からどのような対応ができるか、どうすれば不安感を軽減することができるのかを共に考える機会とする。

【成果】

・夜間学級の職員が同じ「困り感」を抱えていることが共有できた。

・ケアする側の人間として「何があっても動じない人になること」が必要であることを学ぶことができた。

・個々の特性等で対応が異なり、手探りでも誠実な会話が大事であることを学ぶことができた

・情報共有の重要性を改めて確認できた。

○夜間学級担当者会の実施

- ・ 1年間の振り返り、年間日本語指導計画の作成
- ・ 効果的な漢字学習の在り方について
- ・ 日本語習得を目指した読書活動の在り方について

○学級担任との保護者面談（3者面談）

○日本文化、日本における社会生活などの効果的な体験活動の実施

- ・ 球技大会、感謝を伝える会、卒業証書授与式等の実施

○研究紀要の発行、配付

- ・ 生徒の文集の部分で、この1年間の日本語能力の向上、一人ひとりの頑張りや思いを確認

（校内120部、関係機関40部、保存用20部）

【成果】生徒の文集の部分については、この1年間の日本語能力の向上、一人ひとりの頑張りや夜間学級に対する思いを確認することができた。

○夜間学級入級説明会実施

- ・ 夜間学級紹介（授業、行事、学校生活、持ち物等）
- ・ プレオープンスクール説明
- ・ 入級予定者の日本語能力の確認

○プレオープンスクール実施

- ・ 日本の学校生活の体験

○夜間学級案内の多言語版作成、配付

- ・ やさしい日本語、英語、中国語、スペイン語、ベトナム語、タガログ語、ネパール語、韓国・朝鮮語版を作成し、各区役所及び国際交流ラウンジでの配付、及び本市HPへの掲載を行った。

○横浜市立蒔田中学校夜間学級の統合10年を迎えて記念誌作成（第3期 まとめ）

- ・ 横浜市の夜間中学校の経緯のまとめ
- ・ 横浜市立蒔田中学校夜間学級の現状のまとめ
- ・ これからの夜間学級にもとめられるもの

【成果】横浜市の夜間学級が蒔田中学校に統合されて10年の節目にあたり、歴史的な経緯や変遷を含めてまとめることができた。